



THE GUIDE OF MASUDA RED CROSS HOSPITAL

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道: 人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平: いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立: すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立: 国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕: 利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一: 国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性: 世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、人道の実現のために、利己心と闘い、
無関心に陥ることなく、人の痛みや苦しみに目を向け、常に想像力をもって行動します。

益田赤十字病院の基本理念

人道を尊び、地域の方とともに良質な医療を目指します。

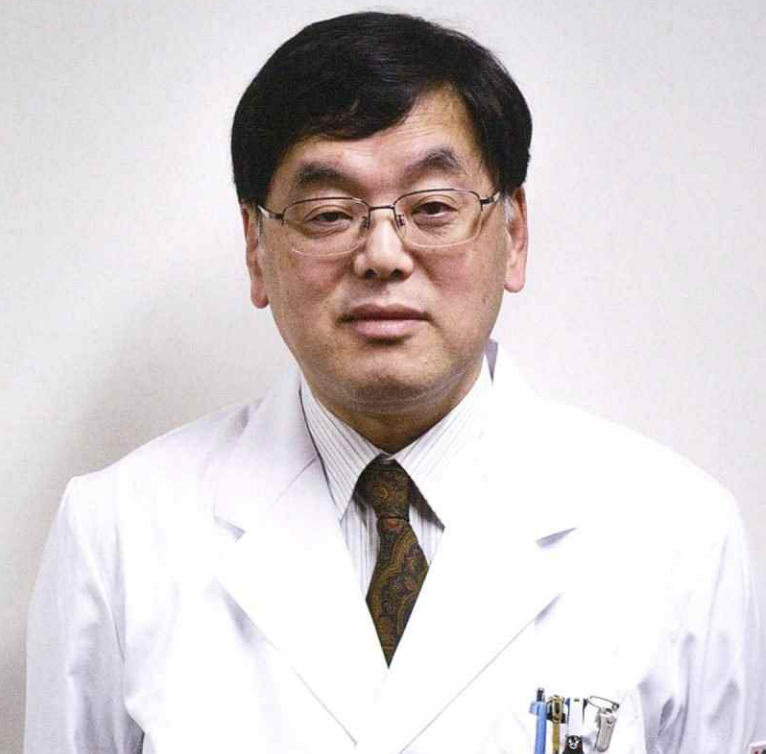
益田赤十字病院の基本方針

1. 地域医療機関と連携をし、急性期医療を中心に展開します。
2. 患者様中心の医療を目指し、医療への選択権を尊重します。
3. 救急医療の充実を図り、急病や不慮の事故に対する治療に万全を尽くします。
4. 医療機器を整備し、高度・専門医療の充実を図ります。
5. 患者様の要望に応え、情報公開をします。
6. 災害救護活動に貢献します。
7. 患者様に良質な医療を提供するため、日々研鑽に努めます。

患者の権利と責任について

当院では、患者様の権利について、以下のとおり支援します。

1. 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
2. 良質な医療を平等に受ける権利があります。
3. 個人のプライバシーが守られる権利および私的なことに干渉されない権利があります。
4. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療法の有無などについてわかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
5. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意思を表明し、自ら決定する権利があります。
6. 自分が受けている医療について、知る権利があります。
7. 患者みずからが、医療従事者とともに力をあわせて、これらの権利をまもり発展させる責任があります。



平成28年1月より新病院での診療開始となりました。新病院は284床で、高度急性期・急性期医療に対応します。病棟は免震構造とし、屋上にはヘリポートを設置し高次医療機関への患者搬送も速やかに行えるようにしました。

新病院には、医療従事者のための研修棟を新設しました。圏域の医療従事者の研修などに広く利用をお願いしたいと思えます。当院から、地域医療の新たなあり方が発信できればと考えております。

当院は、昭和29年(1954年)に美濃共存病院より益田赤十字病院となりましたが、そのルーツをたどりますと、大正8年

(1919年)に農村医療の先駆者である大庭政世先生が設立した青原組合医院に遡ります。先生の遺訓に「利のために節を遣えず、事業を積極的に経営すべし、而して常に新機軸を出すべし。」とあります。また、赤十字の原則は、人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性です。

新病院開院を迎え、初心に立ち返り、当院はこの二つの理念を併せ持つ病院として、職員一同地域に奉仕・貢献できる病院として、常に新しい事に挑戦し成長を続けます。

皆さまのご支援をお願いいたします。

益田赤十字病院
院長 木谷 光博





安心と信頼を追求

私たちは、常に“生命”と
向かい合って活動を
しています。

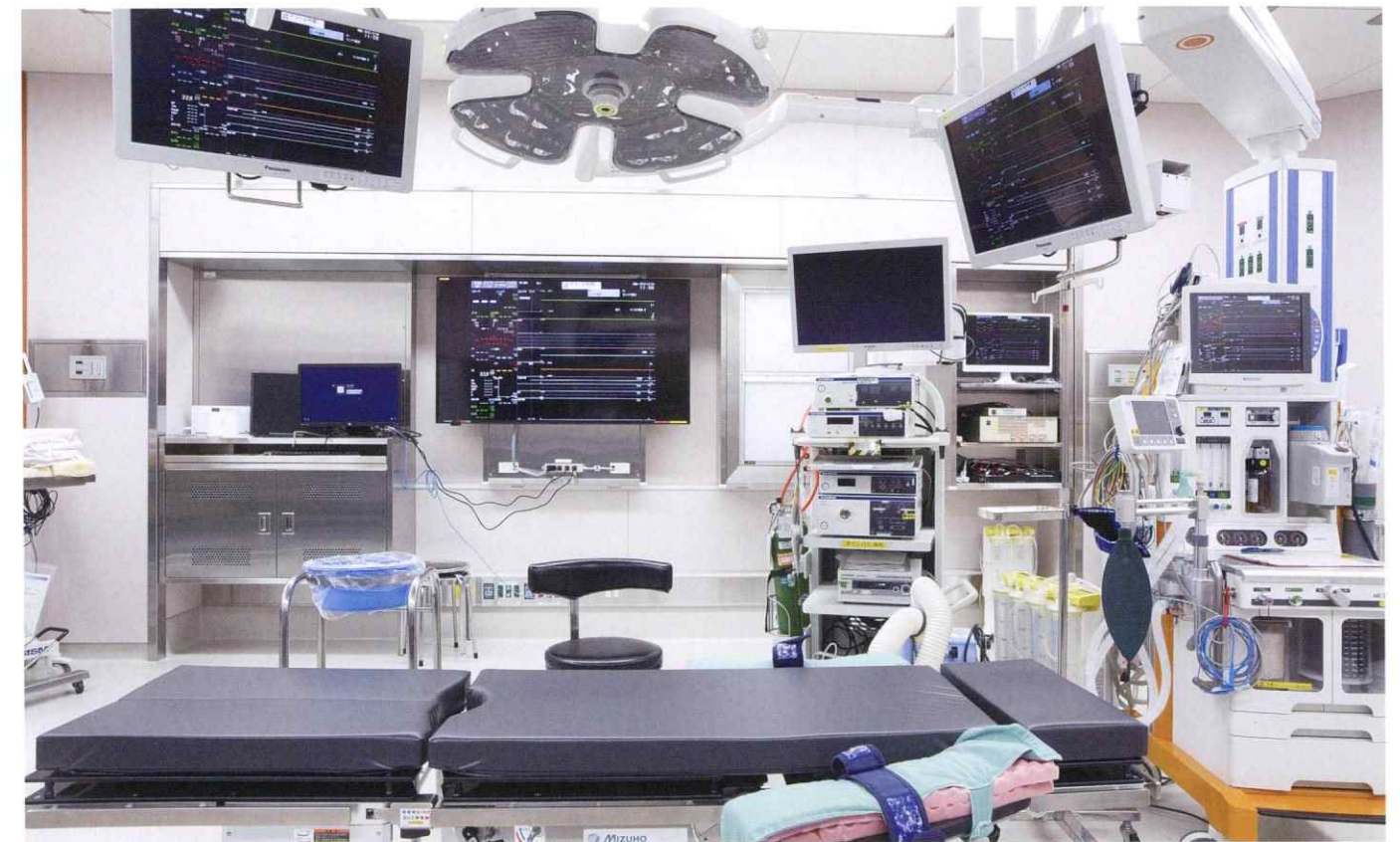
だからこそ、安心を与え
常に、信頼を求め続けなければ
ならないのです。



施設の特徴



人の命を救いたい、24時間365日



手術室

手術室は、バイオクリーンルームを含め4室あり、山の緑、益田川沿いの桜、石州瓦、益田の海をイメージした色彩を施しています。

急性期

島根県西部益田圏域の高度急性期・急性期医療の中心として、専門的な医療を提供します。HCU病床を備え、重篤な患者さんに集中治療管理を行います。

救急医療

救急車受入台数2,680件(平成31年1月～令和1年12月)。24時間、365日救急患者の受け入れ体制を整えています。また、高次機能病院での治療が必要な場合はドクターヘリや、救急車による搬送体制を整えています。

7対1看護配置

「7対1看護配置」とは、入院患者7人に対して、常時看護師1人以上を配置するというもので、一般病棟では最も手厚い看護体制とされており、高度医療への対応、医療安全の確保を図ることにより、より安全で信頼できる看護の提供が可能です。





かわいい産声を未来に繋げるために

地域周産期母子医療センター

産科及び小児科等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として島根県知事から指定を受けています。



助産外来

助産師が妊婦健診や保健指導を担当する助産外来を行っています。妊婦さんと話をしながら超音波エコーで赤ちゃんを写し、体重管理・食生活などの生活指導や、お乳のケアの方法について説明を行います。妊婦さんからは「和やかな雰囲気、話しやすくて良かった。」「不安な気持ちが軽減した。」との声をいただいております。

院内助産

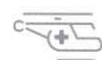
主に助産師が立ち合い、産婦さん自身が持っている『産む力』と赤ちゃんが持っている『産まれてくる力』を引き出し、自然な流れに沿った分娩を行うための院内助産室を整備しました。妊婦さんやその家族の意向を尊重し、安心・安全で快適な妊娠・分娩・産後が送れるようにサポートしています。



未来を担う若者に充実した研修システムを



新人研修医・看護師研修
一年目から計画的に院内・院外の講師による研修を実施し、新人職員をサポートします。



安心して暮らせるように、地域の方とともに助け合う

災害対策

大地震による災害時も地域の拠点病院として、継続して医療が行えるよう免震構造を採用しています。ゴムと鋼板をクレープ状に重ねた積層ゴムが地震の揺れを吸収します。また、多くの傷病者が来院された場合に講堂、エントランスホールを緊急収容スペースとして活用できるよう医療ガスを設置しています。



災害救護

日本赤十字社では、地震・台風などの災害が発生した際、直ちに救護班を被災地へ派遣し医療救護活動を行います。当院においても救護班を編成し、日頃から災害に備えた訓練に取り組んでいます。また、平成22年より島根県DMAT指定医療機関の指定を受けています。



出動実績

近年では平成23年の東日本大震災にDMAT、救護班、こころのケア要員を、平成25年の島根県・山口県大雨災害に救護班、こころのケア要員を、平成28年熊本地震災害にDMAT、救護班を、平成30年7月豪雨にDMAT、救護班、こころのケア要員を派遣し、医療救護活動を行いました。



臨床研修医

「共に学ぼう、明日の医療のために。」指導医と研修医はキャリアの違いこそあれ医療にかける思いと志は同じです。診療科の垣根も低く、一人の患者を同時に複数科で対応することも多く、チームワークに優れた病院です。圏域の救急車搬送件数の約75%を受け入れており、様々な分野の疾患を勉強するには最適な環境です。

看護師

新人からベテラン、管理者まで自己研鑽できる“しくみ”があります。一人一人の成長、やりがいを育み応援します。すべての人に寄り添う赤十字の看護をともに実践しましょう。



部門紹介

外来部門

病院全体のコンセプトとして、白と濃色を配置し、清潔感とおちつきを感じられる空間をつくりました。
本館1階には外来部門、放射線科、検査室を配置し、1フロアで診療が完了することにより、患者サービスの向上を図りました。



エントランスホール

南に面した吹き抜けの開放的な空間に、地場産の石州瓦を使用したタイル壁をアクセントとして配置し、益田らしさを演出しました。



ブロック受付

診療科の機能に合わせて、診察室をブロックごとにまとめました。内科系ブロックなど3ブロックあり、ブロックごとに受付があります。



ギャラリー

外来の通路となるギャラリーです。南側の屋外と一体となった明るく開放的な空間です。高津川流域木材を利用したベンチ、石見地方特有の石州瓦タイルを配したインテリアとしています。



外来化学療法室



人間ドック



売店・カフェコーナー

部門紹介

病棟部門

ナースステーションはオープンカウンターとし、開放的な空間です。
病室はプライバシーとアメニティーに配慮し、1床あたりの床面積を拡大し、個室と4床室を中心とした配置にしています。



東側スタッフステーション

東側のスタッフステーションは、中国山地に向き、森をイメージした緑色をテーマとしました。



西側スタッフステーション

西側のスタッフステーションは、日本海に向き、海をイメージした青色をテーマとしました。



ハイケアユニット病床(HCU)

重篤な救急入院患者さん、大手術後の重症患者さんに集中治療管理を行います。救急外来・手術室から直結するように病床配置しています。



デイルーム

各階に配置し、ご家族との面会などご利用いただけます。こちらでは無料のWi-Fiサービスを利用することができます。



病室(4床室)



病室(個室)



新生児集中治療室(NICU)



益田赤十字病院の沿革

農村医療の充実をはかろうと青原産業組合が全国に先駆けて開院した

青原組合医院に端を発した日原共存病院(石西購買利用組合共存病院)は、益田に分院を開院。

その後、益田赤十字病院として発展した。

大正 8年(1919)	鹿足郡青原村産業組合長 大庭政世が青原組合医院創設
昭和 6年(1931)	日原共存病院に吸収発展
昭和 8年(1933)	日原共存病院 益田分院開院
昭和11年(1936)	益田共存病院
昭和15年(1940)	美濃共存病院
昭和29年(1954)	益田市外11村病院組合美濃共存病院から日本赤十字社に移管され、益田赤十字病院として発足 病床数 85床(一般51床、結核34床) 診療科目 9科(内科、小児科、外科、耳鼻いんこう科、整形外科、皮膚泌尿器科、眼科、産婦人科、理学療法科)

昭和32年(1957)	益田市赤城町に新病院竣工 病床数140床
昭和46年(1971)	益田市乙吉町へ新築移転 病床数360床(一般302床、結核38床、伝病20床) 診療科目13科(内科、神経科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、歯科)
平成 8年(1996)	新病棟増築 420床へ
平成18年(2006)	療養環境整備のため327床へ減床
平成27年(2015)	新病院移転284床(一般276床、結核4床、感染4床) ※平成27年12月28日開院

【歴代院長】

上原 貞平	昭和29年 ~ 昭和40年
武藤 多作	昭和40年 ~ 昭和41年
斉藤 良城	昭和41年 ~ 昭和41年
浜崎 邦夫	昭和41年 ~ 昭和50年
天野 尹	昭和50年 ~ 昭和55年
山川 泰介	昭和55年 ~ 平成4年
河野 龍之助	平成5年 ~ 平成24年
木谷 光博	平成25年 ~

【各種法律等に基づく医療制度指定病院・承認病院】

保険医療機関	地域医療支援病院
労災保険法指定病院	母体保護法指定医療機関
結核指定医療機関	臨床研修指定病院
生活保護法指定医療機関	救急告示病院
災害拠点病院	エイズ拠点病院
第二種感染症指定医療機関	身体障害者福祉法指定医療機関
島根県がん診療連携推進病院	被爆者一般疾病医療機関
地域周産期母子医療センター	地域医療拠点病院
指定自立支援医療機関	指定養育医療機関(母子保健法)
(育成医療・更生医療・精神通院医療)	肝炎専門医療機関
指定医療機関(難病)	島根県DMAT指定病院
指定小児慢性特定疾病医療機関	

【病院概要】

名称 / 益田赤十字病院
所在地 / 島根県益田市乙吉町イ103番地1
病床 / 284床
(結核病床 4床・感染症病床 4床・HCU 4床・NICU 11床)
診療科目 / 20診療科
(内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科)
敷地 / 約26,325㎡
延床面積 / 約20,400㎡
病院本館 / 地上6階建RC造、免震構造、屋上ヘリポート
研修実習棟 / 地上2階建S造、制震構造

【研修施設認定】

日本内科学会 教育関連病院
日本消化器内視鏡学会 指導施設
日本肝臓学会 関連施設
日本脳卒中学会 日本脳卒中学会研修教育病院
日本神経学会 専門医制度教育施設
日本東洋医学会 教育関連施設
日本周産期・新生児医学会 専門医制度(新生児)補完施設
日本周産期・新生児医学会 専門医制度(母体・胎児)補完施設
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 ストーマ認定施設
日本外科学会 外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会 専門医修練施設
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本消化器病学会 認定施設
日本整形外科学会 専門研修施設
日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育施設
日本透析医学会 教育関連施設
日本腎臓学会 研修施設
日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関(画像診断・IVR、核医学)
日本循環器学会 循環器専門医研修関連施設
日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設
日本顎顔面インプラント学会 准研修施設
日本口腔外科学会 准研修施設
日本臨床細胞学会 施設認定
日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証
日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設
日本栄養療法推進協議会 NST稼働施設



主要医療機器

【生体(生理)検査】

- 心電計 ■筋電図・誘発電位測定装置
- オージオメータ(内1台インピーダンス)
- 肺機能測定装置 ■体成分分析装置
- ホルター心電解析装置
- 血圧脈波測定装置 ■脳波計
- 睡眠評価装置(簡易型、PSG)
- 末梢動脈疾患検査用ABI 負荷試験装置
- 皮膚灌流圧(SPP)測定装置
- 超音波診断装置

【検体検査】

- 尿中有形成成分分析装置
- 尿化学分析装置 ■血液ガス分析装置
- 糖尿病診断装置 ■自動血球分析装置
- 全自動発光酵素免疫測定装置
- 生化学全自動分析装置
- 血液凝固分析装置 ■血液培養検査装置
- 血小板凝集能測定装置
- 浸透圧分析装置 ■血液培養検査装置
- 微生物由来成分分析装置
- 解剖台 ■凍結マイクロームクリオスタット
- 密閉式自動固定包埋装置 ■自動染色装置
- 新生児ビリルビン分析装置
- 自動免疫染色装置

【X線診断装置、核医学検査装置】

- コンピュータ断層撮影装置(320列)
- 多目的X線透視装置(アンギオ)
- 心臓血管外科X線撮影装置(心カテ)
- X線撮影装置
- 超伝導磁石式(MR)装置(MRI)

- 核医学検査用ガンマカメラ装置(RI)
- コードレス移動型X線撮影装置
- 乳房X線撮影装置 ■骨塩定量測定装置
- X線透視装置 ■フラットパネル
- 2方向X線撮影透視装置
- 歯科用パノラマX線撮影装置
- 歯科用ポータブルX線撮影装置
- 外科用イメージ装置

【患者監視装置】

- セントラルモニター ■生体情報モニター
- 分娩監視装置

【手術用機器】

- 電動油圧手術台 ■デスフラン化器付麻酔器
- 眼科手術用顕微鏡 ■高周波ラジオ波メス
- 喉頭ファイバースコープ ■ビデオ喉頭鏡
- 気管支ファイバースコープ
- ビデオ軟性子宮鏡 ■催眠レベル測定装置
- 電気メス ■超音波手術装置
- 内視鏡外科手術装置 ■電動式骨手術装置
- 電動式動脈止血器 ■硝子体白内障手術装置
- 新鮮凍結血漿解凍装置
- 大動脈バルーンポンプ
- 関節鏡下手術カメラシステム
- 除細動器 ■体外衝撃波結石破砕装置
- 加齢黄斑変性症治療用レーザー
- 泌尿器科手術用内視鏡システム
- ラジオ波焼灼装置
- 白内障手術装置
- 高周波手術装置

【その他】

- 人工呼吸器 ■陽圧式人工呼吸器
- 耳鼻科治療ユニット
- 超音波診断装置 ■心臓用超音波診断装置
- 上部消化管ビデオスコープ
- 十二指腸ビデオスコープ ■大腸ビデオスコープ
- 気管支ビデオスコープ ■小腸ビデオスコープ
- ベットのウォッシャー
- 分娩台 ■保育器
- インファントウォーマ
- 乳腺腫瘍吸引器 ■オートレフケラトメータ
- 散瞳無散瞳眼底カメラ ■光干渉断層装置
- 多機能型屈折検査装置
- 多局所網膜電位図測定装置
- 歯科用治療ユニット
- ビデオ鼻咽喉スコープシステム
- 臨床用ポリグラフ
- 高圧蒸気滅菌装置
- 医療用酸化エチレンガス滅菌装置
- 自動ジェット式超音波洗浄装置
- 過酸化水素低温プラズマ滅菌装置
- 紫外線照射装置 ■IVHクリーンルームシステム
- 全自動散薬分包機 ■全自動錠剤分包機
- 錠剤分包機 ■重心バランスシステム
- 可動式負荷装置

【人工透析関連機器】

- 個人用透析装置 ■多用途透析装置
- 逆浸透精製水製造装置 ■溶解装置
- 透析液供給装置



院内インフォメーション



- RF / ヘリポート
- 6F / 施設課、機械室
- 5F / 5階東病棟、5階西病棟、結核病室、感染症病室、デイルーム
- 4F / 4階東病棟、新生児室、分娩室、院内助産室、授乳室、4階西病棟、プレイルーム、デイルーム
- 3F / 手術室、HCU室、3階東病棟、3階西病棟、無菌室、臨床工学技術課、デイルーム
- 2F / 管理部門(院長室、副院長室、看護管理室)、名譽院長室、薬剤部、投薬窓口、服薬指導室、化学療法室、血液浄化センター、血液浄化機械室、リハビリテーション室、屋外リハビリ庭園(災害用多目的スペース)、中央材料室、栄養管理室、調理室、医療安全推進・感染管理推進室、事務室(事務部長室、総務課、企画課、会計課、医療情報管理課)、用度課、医局、当直室、会議室、図書室、応接室、サーバ室、更衣室
- 1F / 内科(総合診療、血液・免疫、内分泌・代謝、消化器、呼吸器)、脳神経内科、循環器科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、耳鼻いんこう科、産婦人科、泌尿器科、眼科、歯科口腔外科、小児科、放射線科、救急外来、中央処置室、X線撮影室、透視室、乳房撮影室、心臓カテーテル室、RI検査室、MRI室、CT室、内視鏡室、中央検査室、剖検室、病理検査室、細菌検査室、採血室、脳波室、エコー検査室、筋電図室、心電図室、ESWL室、防災センター、医事課、地域医療事務室、地域医療連携課、入退院センター、受付、料金精算窓口、相談コーナー、栄養相談室、院外処方せん受付、清潔リネン室、霊安室、売店



- 2F / 研修室、トレーニングラボ室、プレイルーム、院内学級、宿泊室、職員休憩室、教務室、学生更衣室、レストラン
- 1F / 講堂、人間ドック、医療社会事業課、図書コーナー、倉庫



ACCESS

- 萩・石見空港より／タクシーで約15分
- JR山陰本線 益田駅より
 - ／タクシーで約5分
 - ／バスで約7分
 - 行 先：久城行・原浜団地行・浜田駅行
 - 停留所：日赤前
 - ／徒歩で約20分



当院は日本海と中国山地に囲まれた自然豊かな環境にあるとともに、病院から車で2時間以内に広島市、山口市へ、空港を利用すれば東京へ行くことができる都市に近い立地です。職員の中にはこの立地を利用し、スキーやマリンスポーツ、サイクリングなど多趣味な人も多く、休日には足を延ばして都市部でショッピングやコンサートなどを楽しむことができます。清流日本一の高津川が日本海に流れ込む位置にあり、釣りを楽しむ職員も多数おり、充実したワークライフバランスを実践できる環境にあります。

Facebook、Instagramで
病院の出来事を発信してます！
覗いてみてね！



お問い合わせ先

日本赤十字社
益田赤十字病院

〒698-8501 島根県益田市乙吉町イ103番地1
tel.0856-22-1480(代) fax.0856-22-3991

<http://www.masuda.jrc.or.jp/>